2023 SL KARTMEETING Festika MIZUNAMI SERIES

 ドライバーズブリーフィング通知



開催サーキット： フェスティカサーキット瑞浪 ＪＡＦ格式 ； クローズド

必ずお読みください

　大会開催にあたり、参加者の皆様へのお願い

　　※ご来場後に体調に異変を感じた場合は、すみやかに大会事務局（1F受付）までお申し出ください。

1. ピット、パドック内は火気厳禁です。火器類の取り扱い注意事項を無視したドライバーやピットクルー

（登録メカニック）は、当該レース失格となり参加を取り消される場合がありますのでご注意ください。

注）火災事故発生につき参加者において消火器を準備ください。（ABC粉末タイプで４型1.2K以上）

2、パドック内では、エンジンの始動チェックのみ行えます。（パドック内の暖気・から吹かしは禁止）

エンジンの暖気・から吹かしは、ダミーグリッドにて進行長の指示に従って行うことができます。

※エンジン暖気に関する違反は、ペナルティの対象となります。

3、工具（エアーゲージ除く）を使ったメカニカル作業はピットエリアでのみ行えます。指定外のエリア作業は

ペナルティとなります。赤旗中断後の作業は競技委員からの指示が出たあと、ピットエリアで作業が可能です。

また、ドライバーに出すピットサインは、ピットサインエリアでのみ出すことができます。

ピットサインエリア外で、サインを提示したり、ドライバーに指示をするとペナルティとなります。

4、コース上では必ずドライバーサインを出し、周りのカートにアピールするようマナーの徹底をお願いします。※エントラントおよび、チーム関係者の方もドライバーへの指導にご協力ください。

5、ピットロード、エリア走行は徐行厳守で、ピットスルーは禁止です。スルー走行の場合ペナルティとなります。

6、公式練習中のタイヤについて

注1）SLクラスやKTマスターズクラスは、公式練習から指定メーカータイヤの使用となります。

登録タイヤメーカー内（ドライ、ウエット）での交換は認められます。

注2）公式練習とタイムトライアルを連動して行う場合、公式練習が終了した時点で、メインポストから計測

中のボードが提示され、タイムトライアルに移行します。

タイムトライアルは指定タイヤのみとなり、終了後車検場で封印されます。

またピットエリアでヒートを終了した場合、必ず車検場経由でパドックに戻ってください。

7、コースアウトまたは接触等によって走行中だったコースとは違った箇所に飛び出してしまった場合、安全確認後、元いた場所に一番近いと思われるコース箇所から再スタートしてください。

　 ※走行不能の場合、車両を安全な場所に移動し、ドライバーは競技委員の誘導で迅速退避してください。

またピットエリアでヒートを終了した場合、必ず車検場経由でパドックに戻ってください。

8、公式練習、ＴＴ、予選、（プレファイナルやセカンドチャンス含む）はダミーグリッドからのスタートです。

ファイナルヒートのみコース上からスタートとなり、コース上もダミーグリッド扱いになります！

9、タイムトライアル開始後は、ピットエリアに入ることはできません。

10、公式練習やタイムトライアル開始後、位置取りのための複数回の車線変更やレコードラインでの低速走行、

ＴＴアタック中の車両妨害にあたる行為はペナルティの対象となります。また、後方のカートにラインを譲る

場合は、レコードラインを開け、譲る側をしっかり示すドライバーサインを必ず出すようにしてください。

11、予選ヒート、ファイナルヒートのコースイン後は、1周のウォームアップ走行を導入します。

ウォームアップ走行終了後、２列の隊列を迅速に整え、グリッド順にて走行してください。

　 ローリングペースが速い場合はＤＯＷＮボード提示、良い場合はＫＥＥＰボードを提示します。

 隊列を大きく乱したり、隣のカートと接触するような悪質な行為の場合は、積極的に白黒旗が提示されたり、ポジション降格（１～１０ポジションダウン）やタイム加算等のペナルティが入ります。

12、ローリング中のポジション復帰禁止区間は、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンを結んだ赤い線上を通過した箇所から、２５Ｍラインまでです。

　　隊列を引っ張る先頭グループは、７コーナー通過後「通称；たこつぼコーナー」立ち上がり付近でペースを落としながら隊列を整えるべくローリングスピードを調整し、２列の隊列を形成するようにしてください。

　　また隊列から大きく遅れた車両には、白地に赤バッテンのボードが提示される場合があります。

　　提示されたカートは隊列に近づいたとしても、最後尾（または最後列）についてのスタートとなります。

　　※ミススタートになった場合でも、ポジションの復帰は出来ません

13、ローリングスタート後、第⑪コーナー進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンに隊列の先頭集団が差しかかった時点で、ピットからのスタートはできません。

14、隊列に出すスタート合図は、コース右側信号の赤点灯から消灯（ブラックアウト）になった瞬間といたします。赤信号が消えない場合は再ローリングとなり、メインポストからもう１周の合図を提示いたします。

　　※スタートが切られた場合は、メインポストからピットエリアに知らせるため日章旗を振ります。

15、スタート合図の際、ドライバー本人のミスで遅れてもミススタートとはせずレースが続行されます。

悪質なポジション取りや隊列を乱す行為には、白黒旗が出て警告をします。繰り返すとペナルティとなり、

グリッド降格、成績にタイム加算や最後尾（または最後列）スタートとなります。

16、雨天時、雨の量が多く、２列でのスタートが危険と判断された場合はグリッド表の隊列ではなく、1位を先頭

　　に１列のフォーメーションでローリングを行います。※この場合、ホームストレート中央付近を走行し、コリドー白線は使用しません。スタートまでは追い越しは出来ず、コントロールラインを越えてから追い抜きが可能となります。安全を考慮し進行しますので、周回数減やイエローコーションでレース終了などもあります。

17、競技中、吸排気系の部品にトラブルが発生した場合、基本的にはレースを終了しなくてなりません。

但し、後方に危険がおよびそうな場合に限っては、オレンジボール旗によって、ピットインを指示する場合が

あります。この場合、ピット作業エリアで修復すればレースに復帰が可能です。

18、競技中にコースオフィシャルが緊急の事態やトラブル車両の確認などでポストから若干移動する場合があります。その場合、黄色の信号灯が点滅します。その信号灯から対象車両までイエロー区間となりますので、イエローフラッグ同様の対処をしてください。また、走行中の多重クラッシュや大きなアクシデント発生時、ドライバーの意思に関係なく救済に入ることがあります。その場合、状況によってはレースに戻ることができます。

オフィシャルが救済したから即リタイアという判断にはならない場合があります。

19、各ヒート終了後、各車両はピットイン後車検場にて検査を受けてください。

レース途中でリタイアしていた参加者は車検を受けることが望ましいですが、車検を受けなかった場合、当該ヒート未車検扱いとなり失格となります。また、部品やその他の装備違反等が、前の車検でクリアしていても、最終ヒート走行後に不備が発覚した場合は当該ヒート失格（ＮＧ）となります。

20、上位入賞カート、車検委員長が指定したカートは車両保管を受け、エンジンなどのオープン検査を行います。

　 車両検査は各メカニック立会いの元実施、終了するまでカートはパドックに戻れません。

21、競技の詳細規定、注意事項は、2023 瑞浪SL特別規則書を必ずご確認ください。※公式通知含む

22、リタイアの場合、所定の「リタイア届」にエントラント・ドライバーの署名をし、大会事務局に提出ください。

23、参加者はレース終了後の表彰式に参加し、終了後はピットパドックの片付け、清掃をお願いいたします。